

Overview: 私たちは召会の回復にあずかるために、召会に関する神の永遠の定められた御旨をはっきりと見る必要があります。見ることは、私たちの経験、失敗、弱さによって影響されてはいけません。霊を活用し、知恵と啓示の霊に頼り、ただ純粋に啓示を見てください。神はこの世の基が置かれる前から、永遠の過去に、召会を得ることを決定されました。したがって、天地、万物すべては、召会のためにあります。私たちは時間の中で再生され、召会生活の中でかしらにつり上げつつあり、最終的に召会を通してすべてのものはかしらにつり上げられます。私たちは、この隠されてきたキリストと召会に関する奥義のエコノミーを福音として宣べ伝え、すべての人に明らかにする必要があります。

I. 私たちは召会の回復にあずかるために、召会に関する神の永遠の定められた御旨を見る必要があります:

A. 定められた御旨とは、何かを行なうための、あるいは何かを得るための決定された意図です:

1. 神の決定されたみこころは、神の定められた御旨になりました。
2. 神の定められた御旨は、召会を得るための神の決定された意図です。

B. 永遠の定められた御旨(文字どおりには、「もろもろの時代の定められた御旨」)は、過去の永遠において未来の永遠のために神によって立てられました:

1. もろもろの時代の定められた御旨は、永遠にわたる定められた御旨、永遠の定められた御旨です。
2. 過去の永遠において、世の基が置かれる前から、すなわち天、地、万物が創造される前から、神は未来における、来たるべき永遠における何かのために、定められた御旨を立てました。ですから、それは永遠にわたる定められた御旨、永遠の定められた御旨と呼ばれます。

C. エペソ第3章11節の「定められた御旨」という言葉は、「ご計画」という言葉と等しいです。私たちは、神がキリストの中で計画した永遠のご計画について語ることができます:

1. 神はご計画を持っており、神はそれを永遠において計画しました。神の永遠の定められた御旨は神の永遠のご計画です。
2. ローマ第8章28節の「彼の目的」は、神のご計画における目的のある決意を指しています。
3. 神のご計画とは、御子キリストの中で、その霊により、からだを通して、神ご自身の団体的な表現を持つことです。このからだは、ご自身と人性とのミングリングによって、多くの再生され造り変えられた人々をもって構成され、建造されています。

D. エペソ第3章10節から11節が啓示しているのは、召会の存在が、神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てた永遠の定められた御旨にしたがっているということです:

1. 召会は、永遠において神によって計画されました。時が始まる前から、永遠において、神は召会を持つことを決意しました。
2. 過去の永遠において、また来たるべき永遠のために、神はキリストの中で、キリストのために召会を持つことを計画し、決意しました:
 - a. 召会は神の永遠の定められた御旨における一時的な事柄ではなく、永遠の事柄です。召会は神の永遠のご計画の中心また主題です。
 - b. 神は過去の永遠において召会を持つことを計画しました。神は来たるべき永遠において召会を持つことを期待しています。
 - c. 召会はこの時代にあり、この時代を経過しますが、それは過去の永遠から、また未来の永遠のためです。

E. 神は、再生され造り変えられた人で構成された召会を持つことを計画しました。彼らは共に組み合わせられ建造されて、団体のからだとなっています:

1. 神は、この団体のからだは団体の器であり、ご自身をその中へと造り込むことを計画しました。
2. 神の定められた御旨、彼の決定された意図は、団体のからだ、団体の器を持ち、彼がご自身と持っているすべてをこの器とミングリングすることができるようにすることです。この器は召会です。
3. 召会は神にとって親愛な、愛すべき、尊いものです。なぜなら、召会は神のたいなる喜び、神の心の願いであるからです。

F. 宇宙の存在は、召会を持つという神の永遠の定められた御旨にしたがっています:

1. 聖書の完全な啓示は、宇宙における万物が召会のためであることを、私たちに明らかにしています。
2. 神たる方の三つのパースンでさえ、神聖な定められた御旨のためです。すなわち、召会を持って神の永遠の定められた御旨を完成するためです。この定められた御旨は、神聖な三一における神を人性の中へと分与することを通して、召会を存在させることです。
3. 召会が存在して神を表現するために、天、地、他の多くのもの、三部分から成る人が必要です。これらのものがなければ、神は宇宙に召会を持って、彼の団体的な表現とすることはできません。

G. 召会に関する神の目的は三重です。すなわち、子たる身分を通してご自身を表現すること、神の多種多様な知恵を敵に知らせること、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることです。

II. 私たちは、「万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにする」必要があります:

A. 新約は私たちに、召会が神の中にある奥義であったと告げています。新約時代の前のすべての世代にわたって、召会は奥義でした。

B. 聖書で奥義は、私たちに隠されて知られていない事を指しているだけでなく、神の心の中に隠されている事も指しています。これは聖書で述べられている奥義に関する原則です。

C. 神の奥義は神の隠された定められた御旨です。それは、ご自身を彼の選ばれた人の中へと分与することです。ですから、神の奥義のエコノミーがあります:

D. 世の初めから、創造の目的は神の中に隠された奥義でした。創造の目的が何であるか、だれも知りませんでした:

1. ヨブは言いました、「あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。私は、これがあなたと共にあるのを知っています」。ヨブは正しかったのです。神の心の中に隠されたことは、各時代の奥義でした。
2. 神は彼のかたちに、彼の姿にしたがって人を創造した後、彼の目的を各時代にわたって隠してきました。
3. 神は新約時代の前に、彼の定められた御旨が何であるかを、だれにも明らかにしませんでした。奥義、すなわち神の隠された定められた御旨は、啓示によって使徒たちと預言者たちに知らされました。

E. 神の心の中に隠された奥義は、神の永遠のエコノミーです。それは神の永遠の目的と彼の心の願いであり、ご自身を彼の神聖な三一の中で、すなわち父として子の中で霊によって、彼の選ばれた人の中へと分与し、彼らの命また性質とならせることです。それは、彼らが彼の複製として彼であるのと同じになり、有機体、すなわち新しい人としてのキリストのからだとなって、神の豊満、神の表現となり、新エルサレムとなるためです:

F. パウロはエペソ第3章4節で「キリストの奥義」という表現を用いて、神の永遠のエコノミーの中にあるキリストのからだとしての召会を説明し、召会がキリストの奥義であることを示しています。

G. 神の奥義のエコノミーは、神の現れのために召会を持つことです。

H. パウロは、キリストの計り知れない豊富の福音を宣べ伝えただけではありません。彼はまた、神の中に隠された奥義のエコノミーに関する福音を宣べ伝えました:

1. 神の中に隠された奥義のエコノミーに関する福音は、召会を生み出し、神の永遠の定められた御旨にしたがって、神を表現し、神の栄光を現すことです。
2. 今日私たちは、神の中に隠された奥義に関する福音を告げ知らせ、万物を創造した神の中に隠された奥義のエコノミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにしなければなりません。神が万物を創造したのは、神のみこころ、彼の心の願い、彼の永遠の定められた御旨を完成するためです。

第一日: エペソ1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び。

5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。

11 その方の中で、私たちも嗣業として定められ、みこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行なう方の定められた御旨により、あらかじめ定められていたのです。

第二日: ローマ8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。

エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

エペソ3:10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです。

第三日: 啓4:11 私たちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです。

エペソ1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。

Ⅱコリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

第四日: エペソ3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり。

5:32 この奥義は偉大です。実は、私はキリストと召会について言っているのです。

第五日: エペソ3:3 私が前に簡単に書き送ったように、その奥義は、啓示によって私に知らされました。4 あなたがたがそれを読むなら、キリストの奥義に関する私の理解を、知ることができます。5 その奥義は、今や彼の聖なる使徒たちと預言者たちに、霊の中で啓示されていますが、別の世代では、そのように人の子たちに知らされていませんでした。

ローマ16:25 神は、私の福音、すなわち、イエス・キリストについての宣べ伝えにしたがって、世々にわたって沈黙のうちに保たれてきた奥義が啓示されることにしたがって、あなたがたを堅固にすることができます。

第六日: エペソ3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり。

経験①: 召会は神の永遠のご計画の中心、主題である

エペソ人への手紙第3章10節から11節が明らかにしている事実は、召会の存在が、神がキリストの中で立てた神の永遠の定められた御旨にしたがっているということです。召会は…偶然に存在するようになったのではなく、永遠において計画されました。時が始まる前から、永遠において、神は召会を持つことを決意されました。過去の永遠において、また来たるべき永遠のために、神はキリストの中で、キリストのために召会を持つことを計画し、決意されました。ですから、召会は一時的な事柄ではなく、永遠の事柄です。召会は、この時代にあり、この時代を経過しますが、それは過去の永遠から、また未来の永遠のためです。召会は神の永遠の定められた御旨における永遠の事柄です。そして、召会は神の永遠のご計画の中心、主題です。

神は何を計画されたのでしょうか？神は、一群れの人たちで構成された召会を持つことを計画されました。彼らは共に組み合わされ、団体のからだとなっています。…神は団体のからだ、団体の器を持つことを計画され、ご自身と彼であるすべてをこの器とミングリングすることができるようにされました。この器が召会と呼ばれています。ですから、召会は神の永遠のご計画の中心です。なぜ召会は神にとってそんなにも親愛な、愛すべき、尊いものなのでしょうか？それは、召会が神の心の願いであり、時が始まる前から彼が計画されたからです。神は永遠において、召会を持つことを計画されました。

中高生編

召会の存在は神の定められた永遠の御旨に従っています。召会は神の永遠のご計画の中心です。時間の中で地震があっても、戦争があっても、何が起こっても、召会に関する神のエコノミーは変わったり、修正したり、中止することは決してできません。

例えば日本の政府は消費税を8%から10%に上げることを決めましたが、景気の状況が良くないので、10%に上げる時期を延期しました。また最近では、その消費税の使い道を次世代のために限定しようという案が出てきています。言い換えると、使い道に関する事柄は決まっていないうことです。しかし召会の産出と建造については、神が永遠の過去に計画されたので、誰も修正したり、予定を変更したり、また目的を変えたりすることはできません。それは神の永遠の御心に従ったものであり、世界で最大の国、アメリカもこのことを変えることはできませんし、あなたの弱さや強さも、神の召会に関するご計画を変えることはできません。

あなたは中高生の学校生活で、召会生活を中心に据えてください。あなたの召会生活は永遠の価値があります。あなたの学校の校長先生、教頭先生、担任の先生、先輩、クラスメイト、後輩、両親などのすべての人、期末テスト、模擬試験、体育祭、クラブ活動などのすべての事、通学に使う電車、通学路、校舎などのすべての物は、召会建造の益になるようにアレンジされています。すべてが共に働いて益となるために、あなたは神を愛し、神が愛する召会生活を愛してください。

ローマ 8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべて(すべての人、すべての事、すべての物)が共に働いて益となることを、私たちは知っています。

中高生にとって重要なことは、勉強と友人との人間関係だと思えます。あなたは主に祈って、良い交友関係を持つことができるように求めてください。良い交友関係はあなたの勉強を助けることもできます。また、友情を維持するためにも、どのように譲歩し、どのように要求すればいいのかを、キリストを経験する方法で学んでください。なぜなら最高の人間性はイエスの人性であるからです。勉強においてもキリストを暗記力、集中力、理解力として経験してください。あなたが理解できないとき、「おお主イエスよ、私は理解力が足りません。主よ、あなたを理解力として経験させてください」と、何度も祈ってください。あなたが召会建造のために、勉強や人間関係で経験したキリストを持って、新人や小学生を助け、養うことができれば、あなたの学校生活は神の永遠のご計画の中で大いに祝福されるでしょう。

経験②: 最高の福音は、召会を伴ったキリストの福音である

神が過去の永遠において世の基が置かれる前から行なわれた最初の事は、召会を生み出して神を現すというエコノミーを立てることでした。各時代にわたって神の中に隠された奥義のエコノミーは、神の多種多様な知恵を現すために召会を生み出すことでした。私たちはまた、神の中に隠された奥義のエコノミーに関する高い水準の福音を持たなければなりません。…このさらに深い奥義は、この宇宙の目的、意味、意義です。この奥義は人には知られていませんでしたが、使徒たちに、特に使徒パウロに啓示されました。ですから、パウロは私たちに、キリストの計り知れない豊富を宣べ伝えただけでなく、また各時代から神の中に隠されたこの奥義のエコノミーを宣べ伝えたと告げました。

最高の福音は、召会を伴ったキリストの福音です。私たちは召会を尊重し、評価し、尊ばなければなりません。私たちは、最高水準の福音としての召会生活を享受します。神の中に隠された奥義のエコノミーに関する福音は、召会を生み出し、神の永遠のご計画、あるいは定められた御旨にしたがって、神を表現し、神の栄光を現すことです。召会は実に愛すべきものです。なぜなら、それはまさに神の表現と神の栄光を現すことであるからです。神が召会を持つとき、彼は表現され、彼の栄光が現されます。私たちはそのような高い水準にある神の表現と栄光を現すことの中で神を享受する必要があります。

パウロは神聖なエコノミーをまさに福音として宣べ伝えました。エペソ人への手紙第3章8節は、キリストの計り知れない豊富の福音を啓示しており、9節は各時代にわたって神の中に隠されてきた奥義のエコノミーの福音を啓示しています。私たちは、このエコノミーを認識し、経験し、新しい人たちに高い水準の福音として宣べ伝えなければなりません。多くのクリスチャンは恵みの福音を享受しており、ある者たちは命のある面で福音を享受しますが、今日のクリスチャンの間で、神聖な命の神聖な支配の下にいることによって王国の福音を享受している人はほとんどいません。キリストの計り知れない豊富の福音と、各時代にわたって神の中に隠されてきた奥義のエコノミーの福音を享受している人はほとんどいません。再生された者は、神性で人性であり、人性で神性であって、自然に有機体、キリストのからだ、すなわち、神の新創造における新しい人としての神の召会となり、神の新しい「事業」を遂行します。それは、三一の神の豊満、表現としてのキリストのからだを建造することです。三一の神の有機体としてのこの豊満は、新エルサレムにおいて究極的に完成します。

在職青年編

各時代から神の中に隠されていた奥義のエコノミーは、召会、キリストのからだを持つことです。旧約の時代、神には奥義のエコノミーがありましたが、旧約の選民にとってそれは奥義であったので、彼らはそれをぼんやりと見るだけで済ませただけでした。しかし、使徒パウロを通して、奥義が新約の信者である私たちに開かれました。ハレルヤ！主に感謝します。

神の永遠のエコノミーは、召会のためであり、召会がこの宇宙の目的、意義です。同時に、召会はあなたにとって、日常生活での主観的な経験でもあります。あなたは、ビジネス・ライフのあらゆることで、かしらであるキリストの中へと成長し込んでください。このために、あなたは祈る必要があります。例えば、上司のリーダーシップの欠如により、組織が混乱し、業務遂行が困難になった時、あなたは、「おお主イエスよ、複雑で墮落した人間関係の中で望みがないと感じています。しかし、私はあなたを私の真の望みとし、真の知恵として経験します」と祈ることができます。かしらであるキリストの中へと成長し込むことであなたのビジネス・ライフは、奥義のエコノミーである召会のゆえに大いに祝福されることができます。エペソ 4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、わたしたちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

1. 主はひとつの栄ごうの召会を持つ。
われら主にありて分あり。
見よ、うちゅうにあるひとつのからだ、
主はわれらをいちとする。
ハレルヤ、みからだ、われら その肢たい、
すべては完成して、主はわれらをいちとする。
2. 孤りつせず団体のあたらしいひと。
主ご自身を完全に表現す。
いま地方だけでなく団体のからだ、
われらはそのうちにある。
ハレルヤ、みからだ、サタンをおびやかす。
からだにあり勝利、われらはそのうちにある。
3. 主は神せいな性しつがあらわれる、
ななつの金のしょくだいに。
からだの生かつに天然の存在なし、
ひかり発し照りかがやく。
ハレルヤ、みからだ、そは金のしょくだい、
いたるところにて、ひかり発し照りかがやく。
4. いかにしんせいになり、かがやくか、
いかにいちとされるのか？
主はいのちの木、新せんえんせき、
日々イエスを食べるはみち。
イエスを食べていち、イエスを食べ聖とされ、
イエス食べかがやく、ハレルヤ、イエス食べるみち！

1. 哦，基督有一榮耀召会，我们有分於她—
何等喜乐，主使我们合为一！
看哪，在宇宙中有一身体，我们属於她—
阿利路亚，主使我们合为一！
阿利路亚，榮耀身体！我们是身体的肢体！
一切完全为这身体！阿利路亚，主使我们合为一！
2. 不是单独孤立基督徒，乃是团体新人—神需要她
完全彰显祂自己！不仅是一个地方召会，
乃是整个身体—阿利路亚，
我们在这身体里！阿利路亚，榮耀身体！
使撒但战抖的身体！在身体里我们得胜！
阿利路亚，我们在这身体里！
3. 神那完全圣别的性情，显在七金灯臺—
身体生活不容天然的存在。
我们合一且有分神性，金灯臺就照耀—
阿利路亚，她正发光且照耀！
阿利路亚，榮耀身体！这个身体是金灯臺！
处处发光，精光照耀！阿利路亚，她正发光且照耀！
4. 我们如何彰显这合一，圣別並且照耀？
阿利路亚，喫主耶穌就是路！祂是生命树，是吗哪，
又是常新的筵席—阿利路亚，我们天天都喫主！
我们合一藉著喫主！我们圣別藉著喫主！
我们发光藉著喫主！阿利路亚，喫主耶穌就是路！

1. Oh, the church of Christ is glorious, and we are part of it—
We're so happy that the Lord has made us one!
There's a Body in the universe and we belong to it—
Hallelujah, for the Lord has made us one!
Hallelujah for the Body!
We are members of the Body!
We are wholly for the Body!
Hallelujah, for the Lord has made us one!
2. Not the individual Christians, but a corporate entity—
God must have it for His full expression now;
Not just individual churches but the Body corporately—
Hallelujah, we are in the Body now!
Hallelujah for the Body!
Satan trembles at the Body!
We're victorious in the Body!
Hallelujah, we are in the Body now!
3. There are seven golden lampstands in the nature all divine—
Nothing natural does the Body life allow.
When we're one and share God's nature, how the lampstand
then does shine—
Hallelujah, it is brightly shining now!
Hallelujah for the Body!
For the lampstands of the Body!
For the golden, shining Body!
Hallelujah, it is brightly shining now!
4. How may we express such oneness, be divine and shining
too?
Hallelujah, eating Jesus is the way!
He's the tree of life, the manna, and the feast that's ever
new—
Hallelujah, we may eat Him every day!
We are one by eating Jesus!
We're divine by eating Jesus!
How we shine by eating Jesus!
Hallelujah, eating Jesus is the way!